

## 「花や植物がもたらすQOL改善」セミナー 出席報告

○ 日時/場所：2016年10月22日(土)14:00～16:00/東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 SYDホール

○ 主催：東京都花き振興協議会

1. 目的：フラワーアレンジメントの作成が、脳機能の能力維持や改善に効果があることを、業界関係者のみならず

2. プログラム：

14:00 開会の辞：江口 晃(東京都花き振興協議会 副会長 企画委員長)

14:05 講演

1 「広島花きイノベーション事業における園芸福祉士の役割」

講師：吉長 成恭(特定非営利活動法人 日本園芸福祉普及協会 理事長)

2 「花の力、いきる力」

講師：武山 直善(一般社団法人 フラワーライフスタイリスト協会)

15:15 質疑応答

15:25 フラワーアレンジメント講習

「広島県における花活の概要」

講師：進藤 丈典(ひろしまね園芸福祉 事務局長)

16:00 閉会

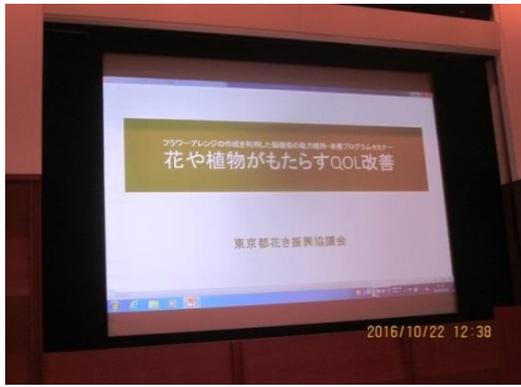
○ 経緯：

2014年に成立した”花き振興法”に基づいて全国で始まった国産花きイノベーション推進事業の中で広島県では、広島花きイノベーション推進事業協議会が「花を暮らしに活かし、気軽に楽しみましょう」という”花活”に取り組みました。特に、パズルを組み立てるような要領でフラワーアレンジメントを作製する吸水スポンジと額縁ポットキャンパス(商品名イレカエール)を組み合わせた豪華な作品を作っていただく”花活講習会”を広島県内各地で開催しました。高齢者施設や障がい者施設など福祉施設の利用者さん達を対象にこれまで2年間で44か所・1000名を超す利用者さんに花や植物に触れて楽しんでいただきました。この講習会には園芸福祉士数名が1か所30名の受講者さんのお手伝いをさせていただきました。この2年間の活動が大変好評をいただき、今年から東京地区でもこの広島の”花活”を取り入れ

○ セミナーの様子：



会場ではセミナー開始2時間前から東京都花き振興協議会の会員である「株式会社 大田花き」の社長室リーダーの秋月功三さんや府中保子さんなど今回のセミナーの最初の企画・立案にも携わってくださった多くのスタッフの方々が準備をしてくださいました。



- はじめに「東京都花き振興協議会・副会長」の江口 晃氏が花の持つ力を再確認したいとご挨拶をいただきました。
- 司会・進行役は「株式会社 自由が丘フラワーズ」代表取締役 松村亮佑氏が務めてくださいました。

**講演：**

最初に、日本園芸福祉普及協会の吉長理事長が「広島花きイノベーション事業における園芸福祉士の役割」と題して福祉の文字の意味から始まり、学術的なデータを多用されて、わかりやすく花や植物が人間にとってとても素晴らしい影響をもたらすことを丁寧に説明し、解説していただきました。ご自身の著書である「植物と人間の絆」と言うタイトルの本やその著者の心に残る言葉も紹介していただきました。園芸



次に一般社団法人 フラワーライフスタイリスト協会の武山氏が「花の力、いきる力」と題して、東日本大震災の被災地にひまわりを東京大学と協賛して植えるプロジェクトや花や植物を利用した療法的活動の実践的な現場の写真等が使われて、とても興味を引くお話を伺うことができました。

フラワーファシリテーターなどの資格も取れる養成講座も当該協会では開催しているなど各種情報



## 質疑応答：

お二人の講師による講演に関して質疑応答が行われ、園芸福祉士やフラワーファシリテータの資格を取るための養成講座に関する質問があり、お二人の講師の方々が丁寧に答えておられました。

## フラワーアレンジメント講習：「広島県における花活の概要」

最後に、フラワーアレンジメント講習をひろしまね園芸福祉協会の進藤事務局長がこれまでの広島での活動を紹介しながら進行役を務めました。



1135+ 240+ 68+ 16+ 10+ ...  
= 花活1415 in ひろしま

日本園芸福祉普及協会/ひろしまね園芸福祉協会

広島県の説明から始まり、2014年及び2015年の2年間、広島県内で行われた計44回の花活講習会の様子をパワーポイントを使って受講者の笑顔などを紹介してご説明しました。

その後、どうしてこのような素敵な表情になれるのかを実際に体験していただくためにイレカエールの組み立てるところからフラワーアレンジメントをスタートしました。今回の花材は赤い立派なバラとピンクのカー



会場には約100名の方（施設関係者:20%,花屋さんやお花の先生など:40%,流通関係者他:40%）がぎっしり詰めかけてくださり、肩が触れるほどの机のスペースでフラワーアレンジメントに挑戦していただきました。受講者の皆さんは最初は少し表情が硬かったのですが、アレンジメントが完成に近づくとともに笑顔がこぼれだして、最後には講師の私に出来上がったアレンジメント「さあ、見て見て！」と言わんばかりの笑顔で作品を壇上にいる私の方に向けて見せてくださいました。終わりに質疑応答がありましたが、「イレカエールはどこへ行けば手に入るのか？」「価格はいくらか？」など

**謝辞：** 広島での”花活”の様子を東京地区の皆さんにお話し、喜んでいただけたように感じました。このような機会を与えてくださった東京花き振興協議会及びこれまで種々ご指導、ご鞭撻をいただきました広島花きイノベーション事業推進協議会、NPO法人・日本園芸福祉普及協会の関係各位に心より御礼